

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/01/15号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢緊迫化で一時急伸するも

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台前半をコアに売買が交錯する展開が続いた。週明け直後は需要不安の織り込みがみられ、一時70.13ドルまで下落した。需給緩和リスクに対する警戒感の強さが上値を圧迫している。サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコが、2月のアジア地区向け公式販売価格（OSP）を大きく引き下げたことが嫌気されている。また、米原油・石油製品在庫の急増もネガティブ。特に石油製品の在庫増加圧力の強さが、上値を圧迫している。しかし、週末にかけては地政学リスクを織り込む形で一時75ドルを突破した後、72ドル台後半まで軟化する不安定な地合になった。

1月11日にイラン海軍がイラクからトルコに向かう石油タンカーを拿捕した。昨年に米軍がイラン産原油を積んだ石油タンカーを拿捕し、原油を没収したことに対する報復としている。同日は、米英がイエメンのフーシ派の関連施設を攻撃したことで、中東情勢の先行き不透明感から今年再高値を更新した。ただし、75ドル台では利食い売りを進める動きも強く、前週比ではマイナス圏に沈んだ。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月5日時点）は、原油が前週比134万バレル増、ガソリンが803万バレル増、石油精製品が653万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル台前半のボックス相場が続く、中東情勢の急変には要注意

過去1カ月にわたって70ドル台前半をコアとしたボックス相場が続いているが、今週もボックス気味の展開を想定したい。中東の地政学リスクが高まっていることが下値を支えるが、原油相場を断続的に押し上げるためには生産障害の発生が求められよう。一方、需要環境に対しては根強い不透明感が維持されていることが、上値を圧迫しよう。結果的に供給不安と需要不安の綱引きから、ボックス相場が踏襲される可能性が高い。

中東情勢は先行き不透明感が増している。米英がフーシ派に対する直接的な軍事行動に踏み切ったが、フーシ派は報復を宣言している。紅海やスエズ運河の石油タンカー航行は一段とハイリスクになり、流通面での混乱状態は維持されよう。フーシ派を支援するイランの活動が活発化していること、サウジアラビアとフーシ派の停戦合意が破棄されるリスクなど、地政学リスクの高まりが引き続き70ドル割れからの値崩れを阻止する見通し。

一方、世界経済の減速傾向は強く、マクロ需給要因では70ドル台後半で上値が圧迫される展開が続こう。特に米国内ではシェールオイルの増産によって原油・石油製品の需給バランスが乱れており、在庫増加圧力が続くと上値の重さも再確認される見通し。

1月17日に石油輸出国機構（OPEC）、18日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表予定になっている。需要見通しの修正状況に注目したい。また、17日には中国の12月分経済指標の発表が集中するため、中国需要不安の蒸し返しの有無も焦点になろう。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



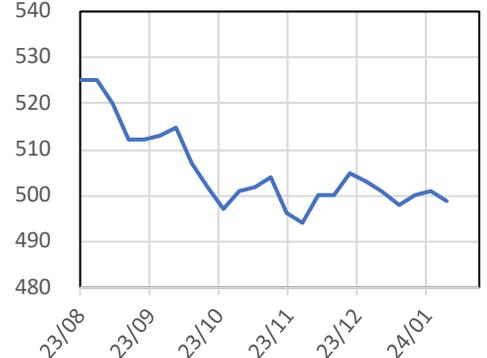
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

